

平成21年度 宮崎県「土木の日」報告書

小学生を対象としたミニ講義&現場見学会

宮崎県「土木の日」パネル展

宮崎県各地区土木の日行事

平成21年度宮崎県土木の日実行委員会 幹事長

宮崎大学工学部土木環境工学科 関戸知雄

小学生を対象としたミニ講義&現場見学会

1. 目的

宮崎県土木の日実行委員会では、次世代をになう子供たちに、土木の役割や実際の仕事の内容を楽しく理解してもらうため、宮崎市内の小学生高学年を対象として、大学教員によるミニ講義と現場見学を組み合わせた事業を継続的に実施する。

2. 実施概要

- (1) 実施日：平成 21 年 11 月 20 日（金曜日）
- (2) 対象：延岡市立 西小学校 4 年生 2 クラス（生徒 80 名）
- (3) ミニ講義：「土木についての話」
講師：宮崎大学工学部 助教 関戸知雄
- (5) 現場見学：東九州自動車道丸目トンネル工事
- (6) 参加幹事：甲斐（国交省）、関戸（宮崎大学）計 2 名

3. ミニ講義概要（約 20 分）

土木の仕事にはどのような種類があるのか、どのようなところで役に立っているのかについて、スライドで写真やイラストを用いて紹介を行った。土木という言葉自体知らないという生徒が多かったため、道路工事、橋の建設、建物の建設など、多くのところで活躍している分野であることを説明した。次に、ごみ処理、下水処理、都市計画なども土木の分野であることを説明し、幅広く社会のために役立っていることを説明した。



関戸助教の講義風景

4. 現場見学

延岡市立西小学校での講演後、2 台のバスに分乗し、延岡道路宇和島トンネル工事現場に向かった。現場到着後、施工を行っている企業よりビデオによる工事の概要説明があった。ダイナマ

イトによる発破により掘り進んでいく様子が説明された。ビデオ終了後、現場に移動し見学を行った。掘削地点に行くまでの間に、掘削機械の説明がおこなわれた。掘削地点は足場が悪いため、4人の生徒が代表として掘削地点の手前まで行き、1メートルずつ鉄骨とコンクリートの吹き付けにより掘り進んでいく様子を聞いた。見学終了後、入口で記念撮影を行い、解散した。



宮城県「土木の日」パネル展

1. 目的

宮城県内の土木遺産をパネルで紹介し、土木事業の役割について市民に考えてもらうきっかけとする。また、土木遺産は地域資源としても価値のあるものであり、パネルを用いて写真や簡単な歴史について紹介することで、認知度を高めることを目的とした。

2. 実施概要

- (1) 実施日：平成 21 年 12 月 5 日～11 日
- (2) 場所：イオンモール宮崎スペースコート
- (3) 配布物：宮城県土木遺産を紹介するクリアホルダーを配布
- (4) スタッフ：関戸（宮大）、瀬戸（国交省）、湯川（宮崎県）、黒木（宮崎市）、高村（宮崎市）

3. 実施概要

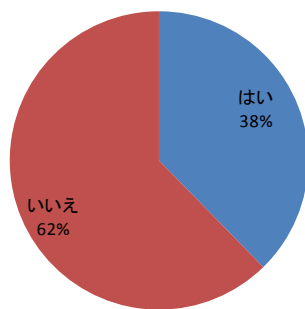
12 月 5 日（土）から 11 日の一週間、イオンモール宮崎の営業時間にパネルを設置し、一般市民へ公開した。パネル総数は 42 枚、紹介した土木遺産は 32 か所である。初日の 5 日には、アンケートの配布と宮城県土木遺産のクリアホルダーを無料配布した。多くの市民が熱心に写真や説明に見入っていた。スタッフも質問に対応した。

また、2 月に宮崎市で公開される「パッテンライ」のペアチケットが抽選であたるクイズ応募も行った。

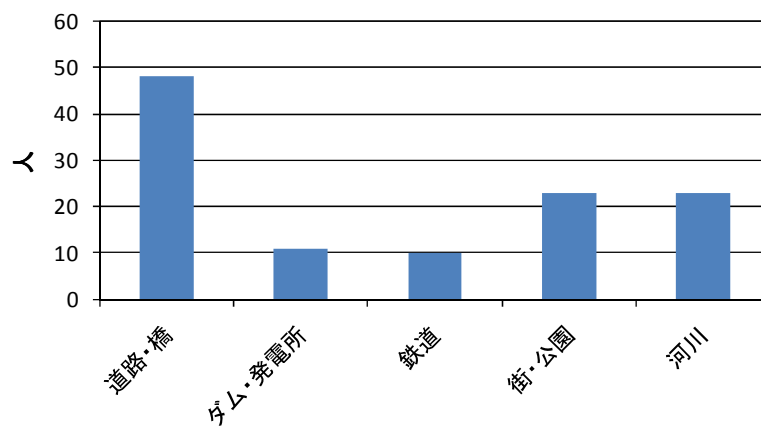


4. アンケート結果（回答数 69）

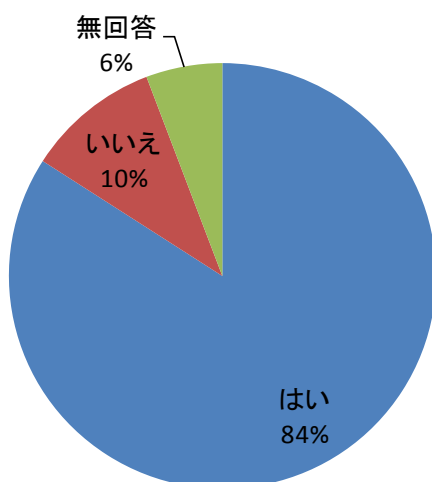
(1)土木の日を知っていましたか？



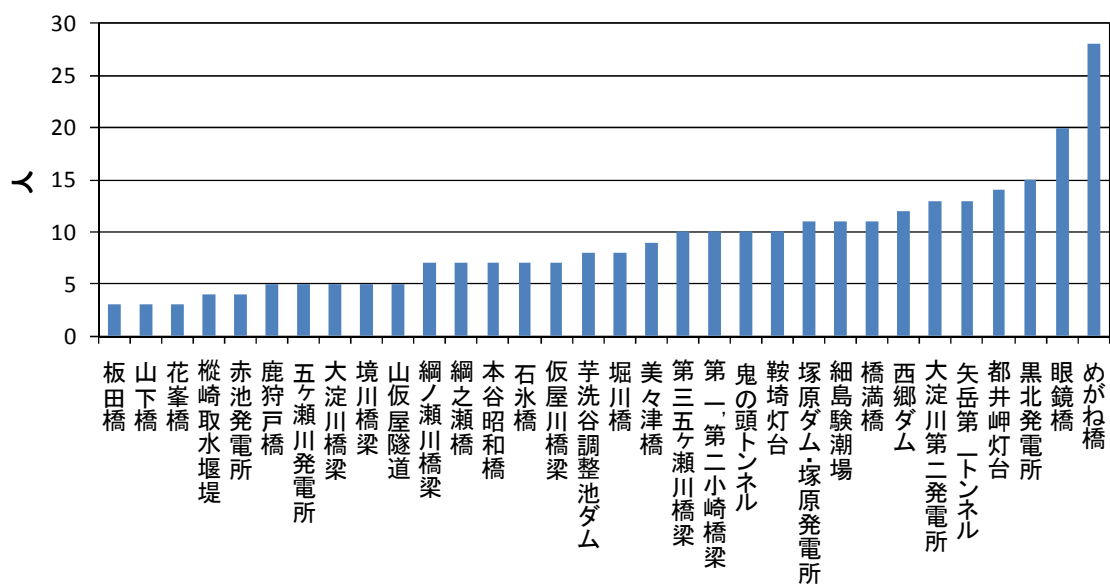
(2)今後必要な土木の仕事は？



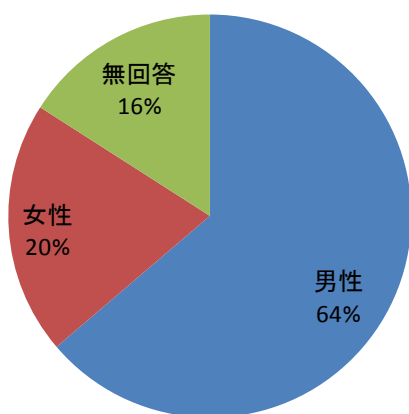
(3)知っている土木遺産がありましたか？



(4) いってみたい土木遺産は？



(5) 性別



(6) 年齢

